

令和7年度国立赤城青少年交流の家教育事業

「あかぎ無限大キャンプ - ファイナル - 」

1. 趣旨

- (1) 協働的な体験プログラム（野外炊事、赤城山登山、レクリエーション等）を通して、多様性を認め合える意識の醸成を図る。
- (2) 長期自然体験活動を通して、健康の保持増進（近視進行の抑制）を図る。

2. 事業の概要

- (1) 期日
令和7年8月10日（日）～8月17日（日）【7泊8日】
- (2) 参加者 20名
5年生男子（6名） 6年生男子（8名） 5年生女子（2名） 6年生女子（4名）

3. 企画運営のポイント

- (1) グループでの話し合いが課題解決的な内容になるよう、必要感のある課題を設定し、全日程で継続的に実施した。
- (2) キャンプの日程を4つのステージに分け、参加者がステージ毎のねらいを意識できるようにしながら実施した。
- (3) 前橋市赤城少年自然の家と連携することで、幅広い協働的な体験プログラムを実施することができるようにした。

4. 日程（※12日（火）午後～14日（木）午前まで前橋市赤城少年自然の家で活動）

	午 前	午 後	夜
8月10日 （日）		・開会式・アイスブレイク ・チームミーティング① ・眼の検査	・チームミーティング② ・ふりかえり
8月11日 （月）	・チームミーティング③ ・あかぎアドベンチャー プログラム	・キンボール ・眼の検査	・チームミーティング④ ・ふりかえり
8月12日 （火）	・オリエンテーリング	・クラフト体験 【ランタン作り】	・登山事前指導 ・チームミーティング⑤ ・ふりかえり
8月13日 （水）	・赤城山登山 【前橋市赤城少年自然の家前登山口→地藏岳→八丁峠 →小沼→小地藏岳→鳥居峠→覚満淵→大沼→前橋市 赤城少年自然の家】		・チームミーティング⑥ ・ふりかえり
8月14日 （木）	・カッター	・チームミーティング⑦ ・野外炊事 【パエリア・豚汁】	・チームミーティング⑧ ・ふりかえり
8月15日 （金）	・赤城山登山 【国立赤城青少年交流の家→おのこ駐車場→黒檜山→ 駒ヶ岳→おのこ駐車場→国立赤城青少年交流の家】		・チームミーティング⑨ ・ふりかえり
8月16日 （土）	・チームミーティング⑩ ・レクリエーション	・チームミーティング⑪ ・眼の検査 ・ビックリ野外炊事	・チームミーティング⑫ ・ふりかえり
8月17日 （日）	・ふりかえり ・閉会式・決意表明		

5. 主な活動内容



「あかぎアドベンチャープログラム」



「チームミーティング」



「赤城山登山」



「レクリエーション」



「野外炊事」



「カッター」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足	: 19人 (95%)	やや満足	: 1人 (5%)
やや不満	: 0人 (0%)	不満	: 0人 (0%)

(2) 参加者の声

- ・初めて体験することがたくさんあったけど、楽しく取り組めた。
- ・登山では、みんなと声をかけ合い登りきることができ、達成感を味わえた。
- ・みんなで協力してやり遂げることは楽しかったし、嬉しい気持ちになった。
- ・キャンプを通して、協力することの大切さや仲間の大切さを学んだ。
- ・繰り返し練習することで、自分の考えや意見を言えるようになった。

(3) 成果

- ・参加者アンケートで、「野外炊事で、自分たちで話し合って役割分担や作るものを決めることができて楽しかった。」「自分たちで決めたレクリエーションを行うことができて楽しかった。」等の感想から、グループでの話し合いを多く設定したことで、グループ内での多様な考えにふれ、互いに認め合うことにつながった。
- ・前橋市赤城少年自然の家と連携することで、幅広い協働的な体験プログラムを実施することができ、参加者満足度の高まりにつながった。
- ・ステージごとのねらいにせまるプログラム編成を行ったことで、参加者がステージ毎のねらいを意識しながらプログラムに参加することができた。

(4) 課題

- ・キャンプ期間中に眼の検査を3回実施したが、当初の計画より時間が長くなってしまい、検査後の日程の調整をする必要があった。検査担当者と事前に打合せを密に行う必要がある。

担当：企画指導専門職 酒井 亮介